

## CEOからのメッセージ



皆様には、平素より格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

2022年4月4日、日本取引所グループ(JPX)傘下の東京証券取引所が運営する株式市場は、プライム市場・スタンダード市場・グロース市場の3つの新しい市場区分で構成されるものに生まれ変わります。

現在の4つの市場区分(市場第一部、市場第二部、マザーズ及びJASDAQ)は、2013年、東京証券取引所と大阪証券取引所が現物市場の統合を行った際に、統合前の市場区分の枠組みをそのまま維持したのですが、各市場区分のコンセプトが曖昧であり多くの投資者にとって利便性が低い、上場会社の持続的な企業価値向上の動機付けの点で期待される役割を十分に果たせていない、投資対象としての機能性と市場代表性を兼ね備えた指数が存在しないなどの課題が指摘されていました。

今回の市場区分の見直しでは、現在の市場区分を、明確なコンセプトに基づいた3つの市場区分に再編いたします。プライム市場は、グローバルな投資家との建設的な対話を中心に据えた企業向けの市場、スタンダード市場は、公開された市場における投資対象として十分な流動性とガバナンス水準を備えた企業向けの市場、そして、グロース市場は、高い成長可能性を有する企業向けの市場です。

また、これらの市場区分の見直しと併せて、市場第一部の上場会社により構成されているTOPIXについても、市場代表性に加えて投資対象としての機能性の更なる向上を目指して見直しを実施いたします。

JPXは、今回の見直しを通じて、上場会社の持続的な成長と中長期的な企業価値向上を支え、国内外の多様な投資者からより高い支持を得られる魅力的な株式市場を提供することにより、豊かな社会の実現に貢献してまいります。

新たな市場区分への移行まで残り1年となりました。

既に昨年11月に新規上場に係る審査基準は一足先に新しい市場区分を意識したものに变更させていただき、グロース市場を念頭に、ベンチャー企業の事業計画や成長可能性に関する充実した情報開示の実務がスタートしています。また、プライム市場の上場会社への適用を想定するコーポレートガバナンス・コードの改訂に関する有識者の議論も大詰めを迎えるなど、移行に向けた制度的な枠組みの検討は予定どおりに進捗しています。本年末には、既存の上場会社の皆様にも、所属先となる新しい市場区分をご選択いただくことを予定しています。

JPXといたしましては、新たな市場区分への円滑な移行に向けて、引き続き、制度の理解促進や制度運用等の構築に全力を尽くしてまいります。今回の市場区分の見直しが真に意味のあるものとして、社会の豊かさの実現に貢献していくためには、投資者、上場会社をはじめ、市場関係者の皆様方のご理解と協力が、必要不可欠です。

これまでの取組へのご理解とご協力に改めて感謝を申し上げますとともに、移行に向けたこれからの1年間、一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2021年4月

株式会社日本取引所グループ

取締役兼代表執行役グループCEO 清田 瞭

---

© 2021 Japan Exchange Group, Inc.